

災害リスクの見える化

～防災DXの可能性と活用に向けて～

主催：日本危機管理防災学会 事務局：株式会社オリエンタルコンサルタンツ



住民、自治体、企業等が相互のリスクコミュニケーションをより円滑に行うため、我が国で加速度的に普及促進がされている防災分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）の活用が期待されています。そこで、本シンポジウムでは、「災害リスクの見える化」と、それを踏まえた「対策の自分事化」について、DXの取組みを含めて多面的に話題提供を行い、住民・企業・行政の自助・共助・公助の観点からより実効性のある防災対策の知識を深めることを目的として実施します。

2022 13:30～17:00

参加無料
申込不要
定員300名
先着順

8/31(水)

zoom「みらくルTV」での開催です。
下記URLよりご参加ください。



みらくルTVスタジオ スタジオパスワード:39
<https://us02web.zoom.us/j/3782787584>

- 開会
- 13:30～ 開催挨拶 市川 宏雄
日本危機管理防災学会会長
I部 話題提供
 - 13:35～ 趣旨説明
 - 13:50～ 話題提供①
中林 一樹 東京都立大学名誉教授
 - 14:20～ 話題提供②
榊 真一 内閣府政策統括官
 - 14:50～ 話題提供③
原田 智総 東京都総務局危機管理監
 - 15:20～ 話題提供④
加藤 孝明 東京大学生産技術研究所教授／東京大学社会科学研究所特任教授
 - 15:50～ 閉会
平田 京子 日本女子大学教授
-休憩-

- II部
- 16:00～ II部 全体討論 防災行政のDX化の展望
コーディネーター兼パネリスト：
中林 一樹 東京都立大学名誉教授
パネリスト：
芝崎 晴彦 東京都総務局防災計画担当部長
平田 京子 日本女子大学教授
中尾 毅 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
執行役員 防災事業部長
◆論点1 被害想定の正しい理解に向けた現状の問題・課題（住民・企業にとって）
◆論点2 被害想定のない正しい理解に向けた現状の問題・課題（都道府県・市区町村にとって）
◆論点3 防災DX化を取り入れたリスクコミュニケーションのあり方について
 - 16:55～ 閉会挨拶 野崎 秀則 株式会社オリエンタル
コンサルタンツ代表取締役社長

■ みらくルTV事務局 ✉ koenado@googlegroups.com

■ 日本危機管理防災学会事務局 ✉ crisishp@meiji.ac.jp ■ オリエンタルコンサルタンツ事務局 ✉ bosai_sympo2022@oriconsul.com

[当シンポジウムは第10回首都防災ウィーク（主催：首都防災ウィーク実行委員会 代表：中林一樹／東京都立大学名誉教授）の一環です]

※首都防災ウィークは、例年、東京都横綱町公園、東京都慰霊堂において、関東大震災のあった9月1日を中心に開催されています。
今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、web開催（みらくルTV）となりました。